



Facebook 配信中!  
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第 **61** 号

令和3年2月15日発行  
(2021年)

11月定例会号

# かけはし



子生れ温泉会館条例を再度審議 (11月定例会) ……	2
10議員が市長に問う! (一般質問) ……	9
「学校再編計画に関する要望書」を提出 ……	19

相良中学校 英語で読み聞かせ



# 否決から1年半!

## 子生れ温泉会館条例再度審議

### 議案への主な質疑

牧之原市さがら子生れ温泉会館  
条例の一部を改正する条例

現行条例では明確になっていなかった休館日や料金区分等を明確にするもの。

### 前回否決から時間を要したが

**問** 令和元年6月定例会において否決されてから1年半を要している。なぜこれほどまでの時間を要したのか

**答** 分かりやすい表現になるよう指定管理者と協議してきたが、なかなか合意に至らなかったことが要因である。議会への報告が遅れたことも含め、大変申し訳ないと感じている。



指定管理者との適切な協議が求められる

### 合意に至った経緯は

**問** 今回合意に至ったのは落とし所が変わったことによるものか。それとも当初と変わらな内容で合意できたのか

**答** 指定管理者募集の際に現行条例を示していることから、現在の料金体系を据え置くという協議に時間を要した。募集要項に基づく管理協定を遵守するということで合意に至った。

### 料金設定方法を変えた理由は

**問** どのような理由から入館料を指定管理者が定めることに変更したのか

**答** 従来から市長の承認を受けて指定管理者が定めており、今回の改正は条例の中で決定手続きが明文化されていないことから明記したものである。

### 公益性は認められないのか

**問** 公益性があると認める場合は指定管理者に料金設定に係る権利を認めないことができるが、今回は該当しないということか

**答** 政策的にコストを下回る、低廉にする必要がある場合は該当するが、今回は現状のままということである。

### 料金を変更する予定は

**問** 現在の550円から上限700円までの間で利用料金を変更する予定はあるか

**答** 入館料については変更する予定はないと聞いている。

### 議会への報告を

**問** 建設時は市民の福祉向上が前提となっていたが見えにくくなってきている。指定管理者と協議した場合は財源が伴わない場合でも議会に報告してもらいたい

**答** 市の公共施設であることから、今後も引き続き適切に管理、監督していきたい。



### 議員からの意見

・細かな運用まで条例に盛り込む必要はないと考えるが、具体的なルールを示すことが必要であり、早急に取り組んでもらう必要があるのではないかと。  
・今後、市が指定管理者と十分に協議し、鋭意、取り組みを促す形とすればいかがか。

### その他の議案への質疑

牧之原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令に伴い、令和3年度以降分の国民健康保険税について軽減判定基準を改正するもの。

### 恩恵を受ける方は

**問** 今回の条例改正によりどうか  
いった方が恩恵を受けるのか



軽減判定基準を改正し、税制改正による意図せざる影響を回避

**答** 個人で仕事の請負をする方、新たに起業する方をはじめ、農業や小売業などの個人事業主に恩恵がある。軽減率の変更や軽減対象外となるなど意図せざる税額の増を回避。

### 影響を受ける方の把握は

**問** 意図せざる影響や不利益を被る可能性のある方は本市ではどのくらいいるのか

**答** 税額が軽減されている世帯が3500世帯ほどあり、その1割程度がこれまでの軽減税率から外れて税額が増額となってしまうのではないかと試算している。それを防ぐための改正である。

牧之原市立図書館条例の一部を改正する条例

牧之原市立相良図書館を移転し、新たに牧之原市立図書交流館を設置するもの。

### 現相良図書館の今後は

**問** 記載が削除される現有スペース(現相良図書館)の今後の使用方法はどうなるのか

**答** 閉架書庫や図書ボランティアのミーティングや読み聞かせなどの練習場所のほか、一般の打ち合わせスペースとしての活用を考えている。

### 飲食についての取り扱いは

**問** 飲食をしながら本が読めるスペースを有するという先導的な施設を目指すとのことだが、必要事項については規則に規定するものか

**答** あくまでも図書スペースの部分が「いこつと」になる。今後は民間部分と一緒に交流活動をしていく予定である。



ミルクウェイスクエア内に整備される図書交流館「いこつと」

**答** 条例施行規則の中に飲食の取り扱いについて規定するとともに閉館時間についても変更する予定である。規則の改正で対応し、条例改正は行わない。

### 「いこつと」の範囲は

**問** 愛称が「いこつと」に決まっているのか。これは施設全体を指しているのか。それとも図書スペースのみを指しているのか

**答** 部分のみが図書交流館「いこつと」となる。今後は民間部分と一緒に交流活動をしていく予定である。



吉田町牧之原市広域施設組合規約の一部を変更する規約

し尿処理施設をはじめとした各施設の設置および管理運営に関する事務について、関係市町が負担する分担金の算出に係る均等割等を変更するもの。

### 負担割合変更による影響は

**問** 構成市町である本市と吉田町の経常経費の負担割合を「人口割60%」から「ごみ処理割75%」に変更することによるごみ処理施策への影響は

**答** 他の業務と同様に処理量割とすることにより統一的な考え方が可能となる。効果として焼却施設の負荷低減を図り、構成市町の取り組みが直接負担割合に反映され、ごみ減量化への好循環を生むと考える。

### 討論

牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(藤野議員)

### 反対

会計年度任用職員を含む市職員はコロナ感染症の広がりに精励している。また、引き下げにより冷え込んでいる市内の消費を一層後退しかねない。現下の状況で今後も職員は公助の中心として市民生活を支える役割を担っている。以上の観点から反対する。

(鈴木長議員)

### 賛成

今回の条例改正は、人事院勧告に基づき、職員の期末手当を0.05月分引き下げるものである。現在、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、先が見えず、国内の社会経済状況が悪化の一途をたどっている中、市内においても大きな影響が出ていることから、人事院勧告に従って対応することに賛成する。

### 市政に対する

### 総合的な質疑

#### 市公式LINEアカウント

機能充実のメリットは

**問** 市公式LINEアカウントの機能を充実させるとのことだが、どんなメリットがあるのか

**答** 現在は全ての情報が全ての登録者に行くため、必要な情報のみをほしいという声に応えるべく情報の選択ができるような機能や、もう1つ、具体的に例えば道路に穴があいているときに市民から市へLINEを通して通報ができるような機能などを考えている。



機能が充実する市公式LINE

#### 加工施設完成後の荒茶販売先は

**問** 産地パワーアップ事業について、片浜地内において民間企業が荒茶加工施設を建設中とのことである。施設の完成に伴い荒茶の確実な販売先が確保されるとのことだが、どういったところが販売先となるのか

**答** 契約栽培となる大手メーカーである。安定した茶園経営のためには販売先が確保されていることが重要であると考えている。



安定した茶園経営に向けて

## 補正予算の審査

### ○今回の補正予算の主な内容

- ・牧之原市社会福祉事業団を設立するための出えん金
- ・RIDE ON MAKINOHARA デジタルスタンプラリー事業に係る経費
- ・キャッシュレス決済導入に係る経費
- ・高齢者施設等におけるPCR検査費用の助成に係る経費



感染を恐れて医療機関への受診を控える傾向が強まっている

**答** 新型コロナウイルスによる受診控えが影響していると考えており、減収分を補うための増額である。補正額としては4市2町全体で3500万円ほどとなる。

### 補助の対象となる対策は

タクシー事業者感染症防止対策給付金 68万円増額

**問** デマンド乗合タクシー業者のどのような対策が補助の対象となるのか

**答** 運転席との隔離といった一般的なにいわれている防護対策をすでに実施している場合が補助の対象となる。

### 大幅な減額の理由は

還付及び還付加算金

2億1872万8000円減額

**問** あらかじめ予定納税された法人の業績悪化が見込まれるとのこと、還付のため6月に増額補正予算を組んだが、今回は不要額の減額である。子細を伺う事前に試算額を聞いていたが、確定申告にて最終的な実績となった。

### LED化を図るのか

修繕料 26万9000円増額

**問** 資料館2階ホール蛍光灯管の取り換え工事だが、器具全体を取り換えLED化を図るのか

**答** 今回は緊急的な修繕ということであくまでも蛍光灯管を取り換えるものである。器具全体を取り換えてのLED化については今後検討していく。

### 一般会計補正予算(第10号)

#### トイレにおける感染症対策は

手洗器自動水栓化等工事 674万円増額

**問** 公共施設のトイレの入り口なども感染リスクが高いのでは

**答** 検討をしたが、ドアの自動化については構造上の問題や費用面での問題もあるため、予算を掛けずともドアに触れることなく出入りできるよう工夫をしていきたい。



全て自動水栓化となる市役所庁舎トイレ

### 一般会計補正予算(第9号)

#### 診療報酬が減収となった理由は

志太・榛原地域救急医療センター運営費負担金

205万5000円増額

**問** 診療報酬が減収となった理由は。また4市2町全体での補正額は



## 新型コロナウイルス対策専用のものか

### 空調設備改修工事

509万3000円増額

**問** 新型コロナウイルス対策専用のものか  
対策のための改修というところだが、設置する空調設備はコロナ対策専用のものか

**答** 現状コロナ専用というものは無いが、殺菌、除菌ができるものへの改修である。

## 国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)

### 支給実績が伸びた要因は

#### 一般被保険者高額療養費負担金

4400万円増額

**問** 支給実績が伸びた要因は何か

**答** 診療は前年に比し増加している。入院患者の療養費は前年上期に比して同期間で28.8%増加し、高額医療費も前年に比べ増加している。これらが大きな要因であると考えている。

### 工事に遅れが生じた場合は

**問** 2021年度末までに費用として充当することだが、遅れが生じた場合の対応は想定しているのか

**答** そうならないように着実に進めていく。万が一遅れた場合は、協定書に記載のとおり中部電力と協議の上対応していくことになる。

## 令和2年度牧之原市一般会計補正予算 (第8号)

20億1305万3000円を増額し、予算額を291億4101万1000円とするもの。

### 配信にかかる費用とは

**問** 成人式のリアルタイム配信にかかる費用だがどういったものか

**答** カメラ3台ほかミキサーなどを借りし、成人式に出席できない方へとネット配信する。当日の操作は職員が行うためトラブル等ないよう丁寧に準備をする。

## 土地取得特別会計補正予算 (第1号)

### 取得面積は

#### 土地購入費

1080万5000円増額

**問** 取得面積は。またこの土地は路線距離にするとどのくらいになるのか

**答** 勝間田川に架かる後川橋の架け替えに伴う路線変更により取得するもので、取得面積は宅地が360.18㎡である。路線距離としてはおおむね20mである。



架け替えが計画されている後川橋 (うしろがわばし)



放射線防護施設に関する計画図 (相良総合センターい〜ら付近)

### 相良地区放射線防護施設等造成工事の請負契約について

契約金額3億1900万円で相良建設・鈴木土建による特定建設工事共同企業体と契約するもの。

### 入札の公平性は

**問** 相良地区と榛原地区の業者がそれぞれの地区の工事を請負・受注してしまっていないか

## 11月臨時会

# 相良地区防災拠点施設整備へ

### 議案への主な質疑

牧之原市分担金徴収条例の一部を改正する条例

相良地区防災拠点施設整備に係る分担金の徴収を可能とし、また防災拠点整備事業を加えるもの。

### 今後の中部電力との関係は

**問** 市が中部電力から20億円を収入することで、今後中電に頭が上がらなくなるのではない

**答** 再稼働とは全く関係なく必要な施設を整備すること。中電に対して、言うべきことはしっかりと行っていくという姿勢だ。

**答** 市は公平な立場で、指名や制限付き一般競争入札等、条件をつけた上で設定している。業者は公平に入札に参加しているとの認識である。

### 牧之原市立小中学校情報機器の売買契約について

契約金額1億6417万3020円で株式会社トツカと契約するもの。

### 納品時期や数量は問題ないか

**問** 全国的に需要が高まっている中3103台と数も多いが、納入時期や数量については問題ないか

**答** その辺りのことを了解した上で入札に参加されたと考えている。納入については機器の設定を完了した上で今年度末までということになっている。

### 分担率の根拠は

**問** 40億円以上の工事費の50%以内ということだが、この分担率となった根拠は

**答** 法的に決まりがあるわけではない。原子力事業所災害対策支援拠点は本来であれば中部電力が整備するものであることから、相応の負担をいただくという中部電力との協議の結果この分担率となっている。



分担金として20億円を徴収し、防災拠点整備事業の費用に

### 児童、生徒が増加した場合は

**問** 転入により児童、生徒の数が増えた場合の対応は

**答** 学校ごと6台程度予備を用意しており、学校同士で融通をきかせながら対応していく。それでも足りないようであれば追加購入等の措置を検討する。

### 購入後の保守対応は

**問** 購入後の保守はどうなっているのか

**答** 今回の契約の中に購入後1年間の保証期間が含まれている。その後についても有償ではあるが必要なものと考えているので、予算措置等の対応をしていく予定である。





# 市政を問う!! 一般質問



大井 俊彦

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 緊急時の予算編成と主要施策は

**問** 令和3年度予算における特徴的で主要な施策は

**答** 戦略プロジェクト事業を推進するための基準となるものは、戦略プロジェクト事業について、優先的に予算化を目指し、着実に総合計画を前進できるような施策の選択と集中を図っていく。

**問** 戦略プロジェクトを推進する際の施策の選択と集中を図るための基準となるものは

**答** 戦略プロジェクト事業について、優先的に予算化を目指し、着実に総合計画を前進できるような施策の選択と集中を図っていく。

**問** 予算編成方針では、新型コロナウイルス感染症の影響等により、税収の増が見込めないとしているが、現時点での主要税目の収入見込みを前年度比較で示してほしい

**答** 新型コロナウイルス感染症等の影響により、個人市民税では、令和2年度当初予算額に対し約2割、法人市民税では約5割の減少を見込み、また固定資産税は税制改正による税率軽減や事業低迷等により数パーセント減少すると見込んでいる。

**行政のデジタル化の取り組みは**

国では現在、デジタル庁の創設に向け準備を進めている。そうした中、全国では行政手続きのオンライン化に取り組み自治体が増えている。令和元年度に施行された「デジタル手法」を転機に、予定より前倒して検討に入っている動きもある。牧之原市の状況について質問する。

**答** 未来若者プロジェクト、高台開発プロジェクト、公共施設最適化プロジェクト等の進捗管理をはじめ、学校等の再編計画の策定、広域組合施設の検討などを進めていく。



**問** 行政オンライン化の取り組み内容とスケジュールは

**答** 本年度、庁舎内にデジタル化推進会議を立ち上げ、基本計画の策定に取り組んでいる。今後のスケジュールは、令和2年度から3年間を区切りと考えている。

**問** オンライン化導入による効果はどのようになっているか

**答** 人口減少社会においても、持続可能な行政運営が行えることや市民サービスの向上が見込まれる。

## ～議決結果と概要～

### ・11月定例会(全会一致のもの)

件名	結果	概要
牧之原市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	人事院の給与勧告に準じ、特別職の期末手当の支給月数を0.05月引き下げるもの。
牧之原市議会議員及び牧之原市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	公職選挙法の改正により市議会議員選挙における選挙運動用ビラの頒布が可能となったことに伴い、当該ビラの作成費用について公費負担が可能となるようにするもの。
地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	地方税法等の一部を改正する法律による租税特別措置法の改正に伴い、引用している語句に改正があったため、関係する3つの条例をまとめて改正するもの。
牧之原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令に伴い、令和3年度以降分の国民健康保険税について軽減判定基準を改正するもの。
牧之原市保育所条例の一部を改正する条例	可決	牧之原市立静波保育園を民間移管するにあたり、当該保育園を公の施設から削るもの。
牧之原市中小企業金融支援基金条例の制定について	可決	国から交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を令和3年度以降の事業に充当するため、基金を造成するもの。
牧之原市さがら子生れ温泉会館条例の一部を改正する条例	可決	現行条例では明確にならなかった休館日や料金区分等を明確にするもの。
牧之原市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	水道法施行規則が改正されたことに伴い、布設工事監督者の資格要件となる試験の選択科目の一部を削除するもの。
牧之原市立図書館条例の一部を改正する条例	可決	牧之原市立良良図書館を移転し、新たに牧之原市立図書館交流館を設置するもの。
静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決	構成団体である相寿園管理組合が令和3年3月31日付けで解散することに伴い、当該組合を削除するもの。
吉田町牧之原市広域施設組規約の一部を変更する規約	可決	し尿処理施設をはじめとした各施設の設置および管理運営に関する事務について、関係市町が負担する分担金の算出に係る均等割等を変更するもの。
令和2年度牧之原市一般会計補正予算(第9号)	可決	1億1,962万7,000円を減額し、予算額を290億2,138万4,000円とするもの。
令和2年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	4,587万円を増額し、予算額を51億9,424万7,000円とするもの。
令和2年度牧之原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	320万円を増額し、予算額を43億8,956万2,000円とするもの。
令和2年度牧之原市土地取得特別会計補正予算(第1号)	可決	1,715万8,000円を増額し、予算額を1,730万6,000円とするもの。
令和2年度牧之原市一般会計補正予算(第10号)	可決	2,562万6,000円を増額し、予算額を290億4,701万円とするもの。
牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	人事院の給与勧告に準じ、議員の期末手当の支給月数を0.05月引き下げるもの。

### ・11月定例会(賛否が分かれたもの)

結果	鈴木長	濱崎	原口	吉田	平口	藤野	名波	植田	村田	良知	澤田	鈴木千	太田	大石	大井	中野
可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

人事院の給与勧告に準じ、職員等の期末手当の支給月数を0.05月引き下げるもの。

### ・11月臨時会(全て全会一致)

件名	結果	概要
報告	報告	令和2年9月に起きた市道の陥没により発生した事故に対して損害賠償の額を定め和解したものの。
改正	可決	相良地区防災拠点施設整備に係る分担金の徴収を可能とし、また防災拠点整備事業を加えるもの。
予補正	可決	20億1,305万3,000円を増額し、予算額を291億4,101万1,000円とするもの。
契約	可決	契約金額3億1,900万円で相良建設・鈴木土建による特定建設工事共同企業体と契約するもの。
契約	可決	契約金額1億6,417万3,020円で株式会社トツカと契約するもの。



# 一般質問

令和2年度の市の調査では20代〜50代の半数あまりが、「30分以上の運動は」の間に「ほとんどしていない」と答えている。市ではグラウンド芝生化やアリーナ施設に向けたさまざまな問題を抱え、社会においては新型コロナウイルスにより「新しい生活様式」のガイドラインを守る生活が続いている。ホストタウン推進事業やウェイブプールの核とした広域観光交流促進事業についても2020東京オリパラが延期されている状況から、以下をお聞きする。



## 原口 康之

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 市のスポーツ振興策は

**問** スポーツ推進計画の策定以降、働く世代の半数以上が運動を「ほとんどしない」と答えている現状をどう捉え、実施事業を市民へどう広報、周知しているか

**答** スポーツ実施率は全国と同程度で、スポーツを行う理由は「健康のため」「体力増進や維持」「運動不足解消」などがあり、しない人は「仕事や家事が忙しい」を理由に挙げている。広報、周知についてはホームページやチラシ、「まきはぐ」で行っている。また、(株)アールビーズとの包括連携協定を締結した。実施率を向上させることは「健康づくり推進」のため今後も積極的に取り組んでいく。



期待される体育館施設

**問** グラウンド芝生化についての進捗は。また放射線防護施設を兼ねる体育館施設はどのような体育館か



沿岸部観光の核と考えるウェイブプール

**答** 令和元年、体育協会各部から天然芝での整備の提案を受け、令和2年度、再度スポーツ推進審議会に意見を求めまとめている。課題はあるが実現に向け検討していく。また整備を進めている体育館は多目的な施設を想定し、現在、詳細について検討を進めている。

**問** コロナウイルスの拡大により、社会状況が著しく変化していく中、ホストタウン推進事業やウェイブプールを活用したスポーツ振興、観光推進など、今後どのように展開するのか

**答** 米国サーフィンチーム、ウェイブプール関係者とウェブ会議を開催し、「令和3年7月の事前合宿実施の意向」を確認している。今後、国の指針や動向を踏まえ関係団体と調整を図っていく。



## 濱崎 一輝

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 若者を呼び込め

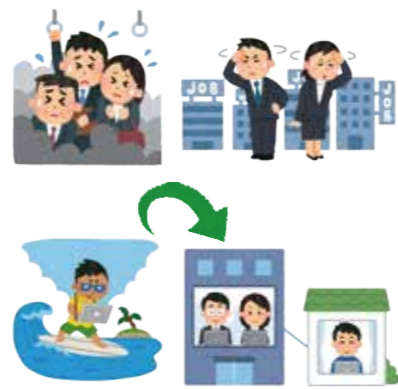
これまで多くの若者が進学等の理由で都市部を中心とした県外へ流出し、市内の人口減に拍車を掛けてきた。ところが、コロナ感染症のまん延に伴い全国的に大学生をはじめとした学生の就職内定率が低下し、併せて都市部のリスクの高い生活に疑問を抱く若者が増えたことで地方への回帰が見直され、\*U・I・Jターンを希望する若者が増えてきた。そこで、この機に市の将来を担う若者を市内へ呼び込むために「人材確保支援および市内活性化について」伺う。

**問** Uターンを促すために、本市出身の学生に対してどのようなアプローチをしていくのか

**答** 地元企業に就職し、市内に定住した学生に対する奨学金事業が考えられる。これは企業と金融機関と市が連携していくことになると思うが、先進自治体の事例を参考に調査・研究をし、今年度卒業する高校生から事業が受けられるような形で、スピード感をもって対応したいと思っている。

### 用語解説

**\*Uターン** 都市部出身者が進学や就職により故郷とは別の地域に移住すること。  
**\*Jターン** 進学や就職により都会に移住した後、故郷に近い地方都市に移住すること。



新たな働き方を模索する若者

**問** 「改正金融機能強化法」により、地方の金融機関が公的資金を受け取りやすく、地方の中小企業への資金繰りを支援する体制が整った。業績が落ち込んだ中小企業がこの制度の活用により、優秀な学生を獲得するなど雇用確保で会社の立て直しができる。と考えるが、市はこの制度の利用を企業に促していくつもりはあるのか

**答** 国の制度が十分發揮でき、活用できるかどうか検討していく。

**問** 二拠点居住の推進には、テレワークができる環境整備や仕事場の確保とともに、住環境整備も重要と考える。本気で都市部の若者を呼び込みたいのであれば、思い切って眺望のいい場所にコテージやマンション、分譲地開発などを手掛けていくというのも一案だと思うが

**答** 令和3年度には、移住・定住や空き家バンクなど住宅施策に関する情報を一本化し、移住定住の補助や奨学金の助成なども含め、ワンストップで情報提供できる課に集約していく予定だ。また、長期的な対策として魅力的なまちづくりについても情報発信していく。



二拠点居住や移住の推進には新たな住環境整備が鍵となる



# 一般質問

市道において、舗装がはがれて、陥没箇所や車輪が落輪し損傷する事故が今年度3件あり、このような事故は車両だけでなく、バイクや自転車通学の学生が遭遇し、人身事故も考えられる。そのような事故防止のための対策について伺う。

**問** 年間の陥没箇所の件数と補修費は

**答** 過去3年間の平均で件数は434件、工事費は2230万円である。

**問** 職員のパトロールによる発見は何件か

**答** 職員のパトロールは2人1組で月3回実施しており、発見件数は過去3年間の平均で年34件である。

**問** 年平均434件もの陥没箇所があるが、事故を防止するための補修方法は

**答** 陥没箇所は道路使用者等からの通報または道路管理者のパトロールにより発見され、その後は早急に補修するよう舗装業者に緊急修繕を依頼している。また、予防保全の観点から陥没などの異常が発見する前に、数百メートル単位などまとまった区間で計画的な舗装修繕を実施している。



**答** 国土交通省のドローン情報基盤システムのホームページにおいて空港周辺地域と人口集中地区を表示する地図が閲覧できることから、市として作成はしない。また使用にあたっては航空法等にて飛行制限が設けられている。公園や海岸、河川であっても各種規制に該当する場合もあり、許可を得る必要がある。

**ドローンを安全に使用するために**

ドローンは近年空撮や、各種の点検、物流などの幅広い用途への利用が考えられるが、安全な使用方法、使用場所等はどのようなものか伺う。

**問** ドローンを安全に許可なしで使用するための地図作成は

**問** ドローンの使用に関する条例の制定は

**答** 航空法やそれに基づく通達等で安全性と利便性を両立するための規定がきめ細やかに示されており、市で独自に規制を加えることは考えていない。

市道における陥没箇所



## 鈴木 長馬

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 市道に穴が434カ所

**問** 工事期間と総事業費および防災効果は

**答** 谷の口から坂口谷川(さぐくちやがわ)の工事区間は総延長2km、工事期間は9年、総事業費は9億円を見込んでいる。水害への効果としては、5年に一度の規模(時間雨量50mm程度)の降雨であれば安全に流せると考えている。

**問** 坂口谷川は川床が浅いが流量変化への対応は

**答** 二級河川である坂口谷川については、管理者である静岡県が降雨量と支流からの流入などを勘案し、地点を定めて流量配分を決定する。この流量に対し河川断面が不足している箇所について整備していくが、その調査は静岡県が平成28年度に行っている。

**問** 沢垂川の改修で川が深くなる。住宅地を通っているが安全面は大丈夫か

**答** 沢垂川の改修工事現場

沢垂川の改修工事現場



**答** 子どもや年配者の安全にも配慮したフェンスを設置していく。

**脱炭素化に対する市の施策は**

衆議院は地球温暖化対策に国を挙げて取り組む「気候非常事態宣言」を決議、採択した。首相は2050年までに温暖化ガス排出ゼロ目標を掲げた。市の施策を伺う。

**問** 生ゴミ、食品残渣などの食品廃棄物の削減や資源としての有効活用についての考えは

**答** まず市民一人一人が心がけることが重要である

**問** ※6Rの進捗状況はいかがか

**答** 環境保全センターでゴミの再資源化を行っている。樹脂、紙類もリサイクルを行っている。さらに推進に向け取り組んでいく。

**問** 行政89部署が取り組んでいるエコアクション21は、現在の評価方法では分かりにくいので、数値化し全体目標を作成したらいかがか

**答** 検討していく。

**用語解説**

※6R  
海洋プラスチックごみを減らすため、静岡県が推進している「リフューズ」「リデュース」「リユース」「リサイクル」「リターン」「リカバー」の総称。

## 村田 博英

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 坂口谷川水系の治水について

気候温暖化により年々大型になっている台風や長雨による水害への対策として長年の懸案であった沢垂川(さわたりがわ)改修工事が始まる。旧榛原町時代からの水害解決に向けた事業に大きな期待がかかるが、その工事内容を伺う。



# 一般質問

市では学校再編計画策定のために教育委員会の諮問機関として委員会を設置。これまで検討が続けられてきた。去る10月、その素案づくりのための市民意見交換会が行われた。10年後の教育のあり方を見据えて、現在の9小学校(組合立を除く)を2校にまとめる案である。

## 大石 和央

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-

## まちづくりの視点が欠けてないか

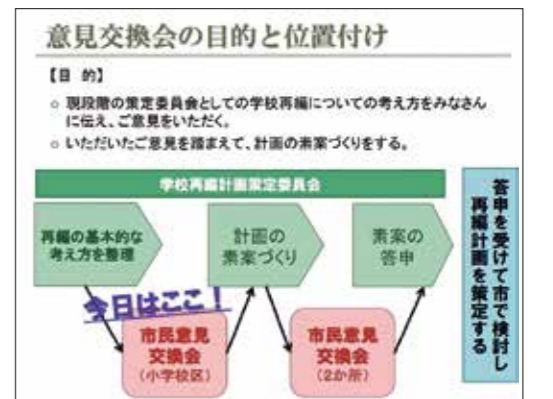
**問** 参加者は、学校再編について知らない人が多数であった。短時間に説明と2校案の賛否を問うやり方は、市民参加手続きに適合しているか

**答** 広報誌や市のホームページ等で広報してきており、今後もさらに市民意見交換会を実施し、パブリックコメント等も行う予定であり、手続きは適合している。

**問** 小学校が消える地域に、新たにどんなにぎわいの場を設けていくのか

**答** 例えば、中心市街地等あるいは防災面での活用、山間部においては農村に係る地域のコミュニティの拠点等が考えられる。

**問** 富士山型のまちづくりということを構想として描いている。つまり牧之原台地、そして相良、榛原の両中心市街地。この両中心市街地が津波の浸水区域となっている中で、緩やかに、その後地である内陸部に誘導していくというまちづくりである。



**答** 富士山型のまちづくりということを構想として描いている。つまり牧之原台地、そして相良、榛原の両中心市街地。この両中心市街地が津波の浸水区域となっている中で、緩やかに、その後地である内陸部に誘導していくというまちづくりである。

○その他の質問  
リニア新幹線建設工事について

平成31年3月、自治基本条例推進会議よりまちづくりセンターを現存する地区の拠点に設置することが提言された。主な内容は地区支援拠点創設と行政から自治会組織に対する依頼業務の見直しの2つからなっている。提言によるその後の議論の中身について質問した。

## 藤野 守

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-

## まちづくりセンター設置に向けて

**問** 提言の内容と今後の計画は

**答** 地区長会と協議し、身近な相談窓口、地区長等の業務軽減、持続可能な地域づくりの支援業務の検討をしている。現在、勝間田地区・地頭方地区において地区支援拠点のモデル地区として試行している。今後地区長会と協議し他地区への設置を計画していく。

**問** 自治会活動の課題は何か

**答** 地域の担い手不足、自治会加入率の低下、地域コミュニティの希薄化が進んでいる。また、地区長、区長の業務多忙、後任選出が困難な状況もある。地域の自主性による若者、女性の参加、参画も必要である。

**問** 今後の具体的な取り組みは

**答** 現在、小学校再編計画も、地区の抱えきれない程度、範囲とするか協議していくことになる。

**問** 地区支援拠点は現在の小学校区10地区で支援するとしているか

**答** 現在、小学校再編計画も、地区の抱えきれない程度、範囲とするか協議していくことになる。



各地区に支援拠点を

**問** 女性の参加をどう進めるか

**答** 周辺自治体における各自治会役員の女性参加については1、2名でありほとんどのいない状況である。女性の視点から見た自治会体制も今後は考えられると思う。また、家庭の中で男性の協力を得たり、自治会の条件整備を図りながら女性の参加が必要であると考えられる。徐々に参加を促すようにしたい。現在は各自治会役員は少数であるが、民生児童委員、保健委員、食生活改善推進協議会、女性団体連絡協議会、花の会等男性より女性が活躍している。



平成31年3月に出された提言書



# 一般質問

牧之原市内の公共施設の照明器具の取り換え工事は進んでいると聞いていますが、体育館や運動場の照明器具の対応はどうなのか伺う。



澤田 隆弘

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## 公共施設の照明器具のLED化

**問** 公共施設の照明器具のLED化はどれくらい進んでいるか

**答** 現在の主な施設での整備率は、両庁舎が60%、さざんかは35%であるが、職員の仕事スペースにおいては100%整備されている。また、学校施設については日常的に使用される利用頻度の高い教室から整備を進めており、学校施設全体では51%の整備率となっている。このうち、児童および生徒が日ごろ授業を受ける普通教室は、全体では130教室あり、現在整備中の20教室の整備が完了すると100%整備されることになる。その他の施設については、公園が62%、道路照明灯が8%となっており、運動場、体育館については、整備時点では水銀灯を使用していたが、現在では全照明灯の95%がメタルハライドランプに改修済みである。この灯具は水銀を含んでいるが、今回の規制対象に該当しないもので、これからの製造される商品である。



LED防犯灯

**問** 今後の対応はどう考えているか

**答** 照明器具のLED化については、更新計画が整備されていない施設においては、財源確保を含めた更新計画を策定し、LED化を推進する。

### 小規模修繕等参加登録制度について

創業したてで実績のない事業者や建設業許可の有無も問わない発注について問う。

**問** 牧之原市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく支援の現状と課題は

**答** 平成30年度に設置した「牧之原市中小企業・小規模企業振興円卓会議」において協議を行いながら施策の推進に取り組んでいる。今後の課題としては市内中小企業の情報発信などが挙げられるので関係機関との連携をさらに強化し、これらの課題に取り組む。

**問** 「小規模修繕等参加登録制度」を採用する予定があるか

**答** 入札参加資格を有さない、小規模事業者に対する注の機会を増やすための登録制度を実施している近隣市町の状態を把握し、調査研究を行っていきたいと考えている。



感染症拡大は、子どもたちの生活や学習、修学旅行などの大切な行事にも大きな影響を与え、心は動揺し、戸惑っているものと推測されることから、安心・安全の確保および教育と行事などの方向性について質問した。



植田 博巳

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## コロナ禍の学校教育と学校行事

**問** 感染症に対する安心・安全対策は

**答** 文部科学省策定のマニュアルなどにより、感染リスクを可能な限り低減した上で、日々教育活動を行っている。

**問** 子どもたちはコロナ感染症に恐怖をおぼえ、兵庫県教育委員会調査では、低学年46.4%、高学年43.9%、中学生43.4%が「夜眠れない」という心理的影響を受けている。心理的ケア対策は

**答** 学校再開後、体調不良を訴える子どもが多く見受けられたが今は安定している。現在は、「夜眠れない」などの影響は見えないが、子どもたちをきちんと見て丁寧なケアをする。

**問** 個々の心理的影響調査によりケアする必要があると思うか

**答** 調査内容等十分検討して実施に向けて考える。

**問** 感染が怖く不登校が増加しているか

**答** 学校の再開時は不安で休む子どももいたが、現在は少ない。感染の不安による欠席は「出席停止(欠席にはならない)」という扱いになっている。



時間短縮となった運動会

**問** 不登校の子がオンライン学習した場合、文部科学省通知では、計画的なプログラム要件により、校長判断で出席扱いとすることができるとあるが

**答** オンライン授業が対面の授業と同じと認識できれば、授業日数とすることは可能かと思う。

**問** 修学旅行などの行事の判断は

**答** 県外への移動は「特に慎重に行動」などの対象地域は避けるよう教育委員会から指示し、各学校は実施時期の見直しなど安全を第一に考えている。保護者とは協議や説明会等を実施し、理解が得られたと認識している。

**問** 小学生が地元食材を使用した「アースランチフェスティバル」や地域環境を守る「萩間川守り隊」などの活動をどう反映していくのか

**答** メニューを実際の商品として扱ってもらえるよう働きかける。萩間川関係は、地域環境を守る素晴らしい取り組みであり、市担当課や県土木事務所などで対応するよう指導する。



子どもたちの調査研究  
河川環境の願い



# 「学校再編計画に関する要望書」 を提出しました

現在、牧之原市では、平成31年3月に策定した「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づく学校再編計画を策定するため、有識者や公募による保護者などから構成する「学校再編計画策定委員会」を設置し、その素案作りが進められています。各地区において開催された素案に対する意見交換会の報告を受け、市議会では、議員全員協議会において協議し、さらなる情報発信の必要性等を感じたことから、市長および教育長に対し「学校再編計画に関する要望書」を提出しました。

学校再編計画は、実際に通うことになる子どもたちだけでなく、市全体の将来に関する大変重要な計画です。市議会としても、その動向に注視し、その方向性や手法について議論を深めてまいります。



## 「学校再編計画に関する要望書」(要旨)

学校再編は、望ましい教育のあり方を実現すると同時に少子化や公共施設の適正化など牧之原市にとって重要な課題解決のための施策である。一方、現在の学校がその地域において果たしている役割もまた大変重要であると考えます。

しかしながら、9回の市民意見交換会や多くの市民からは「再編計画を初めて聞いた」「再編計画のことを知らない」という声を聞く。議会としても、より多くの市民が学校再編について理解を深めるよう、情報発信をこれまで以上に行っていただくようお願いする。

また、素案作りに当たって、再度、意見交換会を実施することはうかがっているが、これからの牧之原市を担う若い世代を中心に、幅広く意見を聞くことを併せてお願いする。

学校再編計画は、将来のまちづくりと合わせて考えなければならない問題である。都市計画マスタープランなど各種計画との整合性に考慮していただくようお願いする。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、意見交換会は中止され、インターネットでの意見募集等に変更されました。

## 議員研修会を開催しました！～リニアが及ぼす水資源への影響について～

令和3年1月18日に、静岡県くらし・環境部の織部康宏理事、田島章次理事を講師にお招きし、「リニア中央新幹線建設における大井川水系の水資源への影響について」と題して議員研修会を開催しました。

冒頭、織部理事からは「リニア整備事業の必要性については賛同している。その上で、南アルプスの特殊性および大井川の水利用の特殊性を考慮して、事業の実施前に県民が安心できるレベルの環境影響評価を実施してほしい。」との静岡県としての願いについて説明がありました。また今後の進め方については、「流域住民の生活や経済活動に欠かせない『命の水』である大井川の水資源およびユネスコエコパーク(生物圏保存地域)に登録された南アルプスの自然環境を保全するため、県の専門部会等の場を活用しながら、県民の不安が払拭されるようJR東海と対話を進めていく。」との説明がありました。



議員からは、JR東海との対話の状況や企業が移転した場合の経済損失についてなど、さまざまな意見や質問が出ました。市議会としても、この研修会の内容を生かし、引き続き県およびJR東海の動向を注視し、命の水や自然を守っていくようにします。

# 一般質問

2020年4月は、民法大改正などさまざまな法改正が目白押しであった。このうち地方公務員法については昨年度に問いただしている。今回は各自治体の判断にて裁量が認められる部分の多い地方自治法改正について、わが市の対応を問う。



平口 朋彦

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## 改正地方自治法の対応をすべきだ

**問** 都道府県や政令市などに義務付けられ、また衆参両院からはその他の市町村にも導入することが望ましいとの意向が示されている「内部統制制度」に対するわが市の見解は

**答** 業務手順書など内部統制の基礎資料とし活用できるものを作成済みである。財務に関する事務について一定の適正化は図られていると認識している。

**問** 昨年から今年にかけて、事務処理手続きのミスが続いているように感じるが、それでも「内部統制の基本方針」作成の緊急性は低いのか

**答** 国でも、市町の規模等を鑑み裁量を認めている。必要性は十分認識しているため当局ができる範囲を考へつつ、適正化に取り組む。

**問** 住民訴訟による長等(職員含む)の損害賠償請求額の上限を設定できるようにになった。全国の事例では「悪意」や「重過失」がないにも関わらず、高額な支払い命令が発せられたケースもある。条例で制定しておく必要はないか

**答** 長や職員の心理的負担が軽減され、萎縮せず今まで以上に安心して職務に臨めることが期待されるが、一方で個人への責任追及のあり方の見直しについては慎重であるべきなど、賛否両論が究していく。



全国では元市長に対し26億円もの賠償支払い命令もあったが...

市の持つ株式、その政策目的は5社2272万円余に及ぶ保有株式について聞く。

**問** それぞれの政策目的は

**答** 中部電力(株)については、安全対策など議論の活性化に重要であると考え保有静岡鉄道(株)については経営状況、事業報告等の情報収集のため。両者とも経営に影響のある持ち株数ではない。御前崎埠頭(株)と御前崎港運(株)は、本市の産業振興につながっているものと考え。富士山静岡空港(株)に関しては、空港立地市としてのシンボリックな意味合いを持つものである。

**問** 議決権行使については

**答** 市民の意向を総合的に判断する。





# 「コロナ差別」の防止に取り組みます！

いまだ新型コロナウイルス感染症収束の兆しが見えず、累計患者数は全世界で1億人を超え、国内においても35万人を超えています。また県内では「変異株」による感染報告も報道されており、深刻化の一途をたどっているとも感じられる状況の中、感染者やその家族に限らず、医療従事者、介護・福祉関係者など昼夜を問わず最前線で奮闘して下さっている方々に対し、いわれのない不当な差別や偏見、誹謗中傷を行う「コロナ差別」が社会問題となっています。どのような理由であれ、「コロナ差別」は許されるものではありません。

市議会では、新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があることから、お互いが思いやりを持ち、支え合いながら、「安全・安心のまち」「思いやりのあるまち」を目指すことの意味表示として、「コロナ差別」防止に向けたメッセージ動画を作成したほか、令和2年12月23日の令和2年11月定例会最終日において議員全員が「シトラスリボン」をつけて臨みました。

今後も、市民の代表として率先して「コロナ差別」の防止に向けて取り組んでいきます。



動画は「市議会HP」「市議会FB」にて視聴できます



## 「シトラスリボンプロジェクト」とは・・・

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛県の有志がつくったプロジェクトで、愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、心から暮らしやすいまちを目指すものです。リボンの3つの輪は「地域」「家庭」「職場（学校）」を表現しています。

なくそう  
コロナ差別！



## 議会を傍聴してみませんか

### 2月定例会の日程

- 2月25日（木）提案説明
  - 3月5日（金）通告質疑
  - 10日（水）
  - 11日（木）
  - 12日（金）
- 一般質問  
 ※12日は一般質問者数が13名以上の場合



- 25日（木）審議・採決
- ※当初予算連合審査会  
 3月15日（月）16日（火）17日（水）

## もっと市議会を知ろう！

### 傍聴する



市議会で行われている会議は全て公開です。

### 録画配信を見る



一般質問はいつでもご覧いただけます。

牧之原市 議会中継  ← クリック

### 会議録を見る



ホームページで本会議や委員会の会議録を見ることができます。

## 今号の表紙

### 【相良中学校 英語で読み聞かせ】

総合的な学習「英語で読み聞かせ」にて、英語の絵本や紙芝居を作り、相良小学校で5回にわたって読み聞かせを行いました。

### 編集後記

新たな年となりひと月半が過ぎました。コロナ禍ではありますが、それぞれの思いも新たに1年のスタートを切られたことと思います。市議会において、1月からタブレット端末を導入し、会議での活用を始めました。今後デジタル化がさらに進んでいくことが予想されますので、議会としてICT化について、引き続き検討をしていきます。（吉田）

- 議会広報特別委員会
- 委員長 濱崎 一輝
  - 副委員長 原口 康之
  - 委員 藤野 康守
  - 委員 平口 朋彦
  - 委員 吉田 富士雄
  - 委員 鈴木 長馬